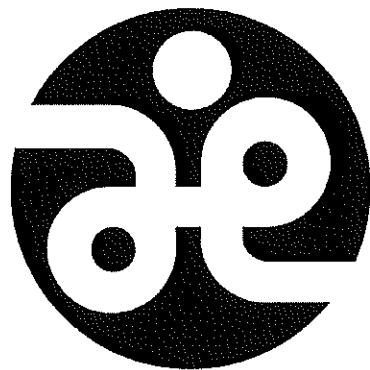


令和6年度
社会福祉法人奥州市社会福祉協議会
事業報告書



自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日
社会福祉法人奥州市社会福祉協議会

令和6年度社会福祉法人奥州市社会福祉協議会事業報告

「第3次奥州市地域福祉活動計画」と「奥州市社会福祉協議会発展・強化経営計画」に基づき、地域福祉の更なる充実と市民の福祉への信頼と期待に応える法人経営の確立を目指し、令和6年度の事業を推進してまいりました。

法人全体においては、会費とささえあい協賛金の一元化について慎重に協議を重ね、新たな会費額と使いみちについて市民のみなさまに説明しご理解をいただきました。また、法人運営の効率化と職員一人ひとりが意欲的に仕事に取り組めるよう、介護事業体制の見直しや人材育成とハラスメント防止に取り組むとともに、本会が運営する施設の有効的な財産活用についても検討を進めました。

奥州市全体の地域福祉をさらに推進するための取り組みとして、社会福祉法人間での連携強化を図り、地域貢献活動のネットワーク構築に向けた具体的な計画づくりや、複雑化した地域課題に対応するために重層的支援体制整備事業において社会福祉法人が果たすべき役割について研修会などを通じて理解を深める取り組みを行いました。

地域福祉事業では、支援を必要とする方を早期に把握し、地域全体で見守る体制を強化するため、「地域セーフティネット会議」の開催を推進しました。また、介護事業課との連携を強化することで、在宅での生活を支えるための情報共有やサービス提供の連携をスムーズに行えるよう共通理解を深めました。災害発生時においても迅速かつ適切な支援を提供できるよう、関係機関と連携した支援体制の整備を進めました。さらに、福祉活動専門員が定期的に情報交換を行い、それぞれの専門性を活かした支援の質の向上を図るとともに、市民の皆さまが生活課題を抱える世帯へ支援する活動を促進することで、誰もが安全・安心に暮らせる地域共生社会の実現に向け、事業を推進しました。

重点事業の実施状況、新規・事業改編等の取組み状況については、次のとおりです。

1 重点事業の実施状況

(1) 地域共生社会の実現を重点とする「第3次奥州市地域福祉活動計画」の取組み

① 誰もが安全・安心に暮らせる地域づくり

ア 日常生活をお互いに支えあう仕組みづくり《担当課：地域福祉課》

地域セーフティネット会議を通じて、行政区内の要援護者世帯の把握を行うとともに、近隣者による見守りにつなげました。支援が必要な世帯に対しては、住民が主体的にゴミ出しや除雪支援などの生活支援に取り組むきっかけづくりにつなげました。

イ 地域に根差した支援体制の構築《担当課：地域福祉課》

介護サービスと近隣による見守りを連携させるため、地域福祉課と介護事業課との定期的な連絡会議を行い、見守り台帳や緊急連絡カードの配備などの共通理解を深めました。

ウ 災害時の安否確認や避難誘導に取り組める体制づくり《担当課：地域福祉課》

全市的には、避難行動要支援者の台帳整備をすすめ、一部地域では、福祉マップや地域セーフティネット会議で災害時要支援者を把握し、自主防災組織と地域セーフティネット会議が連携して安否確認訓練や避難誘導訓練を実施するとともに災害時

連絡網を作成しました。

② 地域の福祉を支える仕組みづくり

ア 社会福祉法人の地域貢献活動のネットワーク構築支援《担当課：総務財政課》

社会福祉法人連絡会の幹事会・地域部会・法人部会ごとに計画具体化に向けた検討を進めながら、会員間での情報共有を図り、共通する課題を解決するために研修等に参画し、会員の資質の向上と相互のネットワークづくりに取り組みました。

③ 市民の暮らしや活動を支える体制づくり

ア 地域共生社会推進事業《担当課：地域福祉課》

福祉活動専門員が、地域セーフティネット会議などに出向いて、要援護者の把握や、地域生活課題の解決に向けた情報交換などを行いました。

イ 市民の相談を真剣に受け止めて支援する体制づくり《担当課：生活応援課》

多様な相談に的確に対応し、適切な支援を提供するための体制づくりとして、法人全体で活用できる相談対応マニュアルを作成しました。相談者の属性、世代、相談内容に関わらず、どの相談窓口でも市民からの相談を包括的に受け止め、適切な支援ができるとともに、相談対応の標準化と質の向上を図り、市民の皆様が安心して相談できる環境を整備しました。

(2) 効果的・効率的な組織運営をめざす「発展・強化経営計画」の実践

① 信頼ある組織・機構づくりと事業推進体制の見直し

ア 組織機構の再検討《担当課：総務財政課》

介護保険事業6事業所を総合的な見地で運営する介護事業課の体制強化のため、「処遇改善加算」制度の一本化に対応するとともに、内部でキャリアパス委員会を立ち上げ、人材育成方針とキャリアパス表について検討を始めました。

② 法人運営と職員管理・育成の強化

人材育成の充実と働きやすい環境づくり《担当課：総務財政課》

ハラスメント等による職員の離職やモチベーションの低下を防ぎ、より働きやすい職場環境を実現するため、全職員を対象にアンケートを実施しました。また、研修会では具体的なハラスメントの種類と該当する言動の判断基準の理解を促し、ハラスメントの防止に努めました。

③ 効果的な事業運営と財政基盤の確立

保有財産の利活用方針の設定《担当課：総務財政課》

奥州市総合福祉センター及び胆沢総合福祉センターの修繕にかかる財源確保について検討を開始しました。胆沢総合福祉センターの利活用については、重度障害のある方のための通所型活動拠点として活用する方向としました。

屋内ゲートボール場すばく胆沢については、施設のより効果的な活用のため、奥州市へ譲渡しました。

2 新規事業の実施状況

(1) 会費・ささえあい協賛金の一元化《担当課：総務財政課》

かたりあいの輪福祉懇談会において、協賛金を会費へ一元化することについて説明を行い、会員の皆さまより意見を伺ったうえで、会費規程を改正しました。会費額と地域助成の改正内容について全地域で説明会を開催し、地域関係者の皆さまに理解と協力を

お願いしました。

(2) 生活課題を抱えた世帯と地域福祉活動をつなぐ事業《担当課：地域福祉課》

地域住民の方々と協力して、ゴミ屋敷等の生活環境の改善が必要な世帯の清掃活動や住居の整理、福祉サービスの利用に向けた支援を行いました。また、居住する地域の生活環境に影響を及ぼす可能性のある野良猫への対応や、敷地内の雑木伐採なども行いました。

(3) 子育て世帯訪問支援事業《担当課：こども福祉課》

家事・育児等の支援をする訪問支援員（子育てヘルパー）の派遣を通して子育て世代の不安や負担を軽減するため、奥州市子育て世帯訪問支援員養成研修会を開催し、訪問支援員の養成を行いました。また、奥州市からの要請に対してケース会議等へ対応しながら、訪問支援員（子育てヘルパー）の派遣を行いました。

(4) 第2期介護保険事業経営方針の取り組み《担当課：介護事業課》

第2期介護保険事業経営方針について、素案を作成しました。また、専門職としてより高い知識と技術を必要とされる中、新たに介護支援専門員2名、社会福祉士1名、第Ⅱ種衛生管理者1名が資格を取得しました。

No.	担当課	部門	事業名等		内 容		重点項目 (★)
			大区分	中区分	新規事業 活動計画	発展強化 経営計画	
1	総務財政課	理事会	理事會	理事 14名（令和5年6月から）、監事 3名で構成し、法人業務執行の協議、決定を行った。	役員協議会 理事 14名、監事 3名で構成し、奥州市地域福祉活動計画と発展・強化経営計画の進捗状況の確認、重層的支援体制整備事業の実施に向けた取組及び一般会費とささえあい協賛金の一元化に向けた取組の方針について協議した。	5回	
2	総務財政課	評議員会	評議員 27名で構成し、法人の議決機関として、役員の選任、予算・決算、定款変更、事業計画及び事業報告を議決した。	4回			
3	総務財政課	三役会議	会長、副会長及び常務理事により法人業務を協議した。	9回			
4	総務財政課	部会・委員会等の開催	委員会 ボランティア・市民活動センター運営委員会及び法人後見運営委員会等事業推進に必要な委員会を設置し、専門的な事項について協議した。 三役・地域福祉推進協議会委員長合同会議（5/27、2/27） 2回 職員人事委員会（6/14、10/1、11/15、3/19） 4回				
5	総務財政課	事業評価委員会の開催	事業評価委員会で協議された内容に基づき、次の2点について実行した。 地域福祉事業の国庫補助の受託 令和6年度から奥州市重層的支援体制整備事業「多機関協働事業」を受託した。 各種事業等を見直し、廃止事業等の関係機関・団体との交渉 各屋内ゲートボール場を令和6年度末で奥州市へ無償譲渡した。			○	
6	総務財政課	適正規模の職員配置	本所5課体制を維持しながら、業務の効率化や職員の適材適所の配置をさらに進めた。			○	
7	総務財政課	事務事業の効率性と機能性	法人の経費削減及び業務効率化を図るため、年末調整の電子化を実施するとともに、各課が所有するノートパソコンを活用した課長会を開催し、経費削減と事務効率化の効果的な方法を検証した。			○	

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(★)
			大区分	中区分		
8	総務財政課	総務	組織機構の再検討		令和7年度から の重層的支援体制整備事業の本格実施に伴い、支所職員と地域担当制の地域福祉センター（新規）との常駐の仕組みを検討した。 介護保険事業6事業所を総合的な見地から運営する介護事業課の体制強化のため、「処遇改善加算」制度の一本化を行うとともに、キャリアパス委員会を立ち上げ、キャリアパス要件の統一に向けて、人材育成方針及びキャリアパス表について検討した。	★
9	総務財政課	人事	役員研修・職員研修の実施		研修実施計画の研修体系に基づき役職員の資質向上のため、職場内研修及び派遣研修に取り組んだ。 基本研修：全職員共通 (内部研修) ・安全運転講習会（9/18・19、10/3・4 全職員） 職階層別研修：初任者、中堅者、管理者 (内部研修) ・奥州市社会福祉協議会新任職員等研修会（5/9 11名） ・ハラスメント研修会（管理職、管理者及び中堅職員向け）（7/2 19名） ・奥州市社会福祉協議会職員研修（課長・補佐級）（1/30 26名） (外部研修) ・新任研修（2名）、中堅職員研修（2名） 専門研修：地域福祉、生活支援、権利擁護、介護、児童等の分野ごと (内部研修) 担当課 研修内容 生活応援課 生活困窮者自立支援室及び福利擁護あんしんセンター職員研修会（8/1 18名） 奥州金ヶ崎地域福祉センター視察研修（11/11 4名 12/18 4名） (外部研修) 担当課 研修内容 地域福祉課 重層的支援体制構築推進人材研修・広報啓発事業（2名）、重層的支援体制整備事業研修会（1名）「広がれボランティアの輪」連絡会議30周年記念「ボランティア全国フォーラム2024」（6名）災害ボランティアセンター研修（6名）、生活福祉資金担当者研修（2名） 生活応援課 成年後見制度・権利擁護研修（延べ14名）、障がい者不利益取扱い相談窓口研修（1名）、生活困窮者自立相談支援制度人材養成研修（2名）、地域包括支援センター職員研修等（16名）	

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(★)
			大区分	中区分		
			こども福祉課	放課後子どもプラン指導者等研修（第1回10名、第2回6名）、子どもの居場所指導者研修会（4名）、全国こどもの健全育成リーダー養成セミナー（13名）、子育て・家庭教育相談セミナー（4名）等		
			介護事業課	介護支援専門員専門研修（3名）、認知症対応型サービス事業管理者研修（1名）第Ⅱ種衛生管理者（1名）等		
10	総務財政課	人事	人材育成の充実	「法人運営と職員管理・育成の強化」の「人材育成策の充実」の具体的な行動計画を定め、実際に向けて、キャリアパス委員会を設置し、検討を始めた。	○	
11	総務財政課	人事	働きやすい環境づくり	働きやすい環境の一環としてハラスメント対策に取り組み、ハラスメント研修やアンケートの実施などをを行い、防止に努めた。	★	
12	総務財政課	経理	安定した財源確保のための取組み	所有施設の修繕積立金、会費財源や介護保険収入による人件費に関する人件費積立金、福祉基金積立と運用の年次計画を検討した。	○	
13	総務財政課	経理	公的財源減に対する保有財産の利活用方針の設定	老朽化が進む奥州市総合福祉センターと胆沢総合福祉センターの利活用と施設の長寿命化に向けて、長期的な修繕計画の作成に着手した。	★	
14	総務財政課	経理	販売機の設置事業	奥州市総合福祉センター、江刺総合コミュニティセンターに自動販売機を設置し、売上手数料の益金を福祉活動に役立てた。	★	
15	総務財政課	経理	会費・ささえあい協賛金の一元化	新たな一般会費案について協議を重ね、かたりあるいは、かたりあいの輸福祉懇談会で一元化の目的、背景、具体的な内容について説明し、規程の一部改正を行い、新年度からの実施に向けて市民や関係団体へ周知した。	★	
16	総務財政課	企画	広報活動の推進	社会福祉協議会広報紙「おうしゅう福祉だより」を発行し、福祉活動の啓発を図るとともに、市民の参画を促進した。また、企画編集の手法や掲載イラスト等を工夫し、読みやすく分かりやすい広報紙づくりに取り組んだ。 ・広報紙「おうしゅう福祉だより」の発行 年間4回発行 市内全世帯配布 ・マスメディア等への適時適切な情報提供 ・ホームページの活用 ・本会イメージキャラクターのフレイガーチャーの積極的な活用	★	

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(★)
			大区分	中区分		
17	総務財政課	企画	社会福祉法人の地域貢献活動のネットワーク構築支援	会議等 ・幹事会 7/23、1/14 ・地域部会・法人部会 8/19、1/14	地域における公益的な取り組み等について具体的な活動の検討を行うため、部会での協議を始めた。	★
18	総務財政課	企画	地域福祉推進協議会との協働による事業推進	三役・地域福祉推進協議会委員長合同会議（5/27、2/27） 協議内容 ささえあい協賛金の一般会費への一元化、かたりあいの輪福祉懇談会の日程及び地域福祉推進協議会委員構成等について協議を行った。		
19	総務財政課	企画	福祉活動推進員設置事業	市内の行政区単位に福祉活動推進員を設置し、地域福祉活動を推進した。 奥州市 333人委嘱 水沢 112人・江刺 92人・前沢 50人・胆沢 49人・衣川 30人		
20	総務財政課	企画	福祉サービス苦情解決事業	本会が提供する福祉サービス等に対する苦情への適切な対応と解決により、利用者が福祉サービスを適切に利用できるよう取り組んだ。 ・第三者委員を6人に委嘱 ・事業所ごとに苦情受付担当者を設置 ・福祉サービス運営適正化推進会議 第1回会議 6/5 第2回会議 11/20 ・苦情解決研修（外部研修） 福祉サービスの苦情を考えるセミナー（7/3 2名） 奥州地域福祉サービス苦情解決情報交換（8/20 3名） 岩手県社会福祉研修 苦情相談・解決研修（9/11 1名）		
21	総務財政課	企画	奥州市社会福祉大会の開催	本市の社会福祉の向上に尽力され、多大な功績を残された方々を顕彰し、特別講演等により福祉活動への共通認識と理解を深め福祉意識の醸成を図った。 期 日 10/23 会 場 奥州市文化会館 大ホール 被表彰者 126名・26団体 記念講演 「岩手にええトコあると思います！～移住して知った沢山の宝物～」 いわて応援芸人 天津木村（てんしん きむら）氏 参加人数 約600名		

No.	担当課	事業名等	部門	大区分	中区分	内 容	重点項目(★)
							新規事業 地域福祉活動計画 発展強化経営計画
22	総務財政課	奥州市地域福祉推進市民会議の推進	企画	奥州市地域福祉推進市民会議及び奥州市地域福祉活動計画、奥州市地域福祉活動計画について	期日 1/21 内容 奥州市地域福祉計画、奥州市地域福祉活動計画について	市民や町内会等の自治組織やボランティア団体等、関係団体や機関による地域生活課題の解決に向けた検討、奥州市地域福祉活動計画の進捗評価と提言を行うため会議を設置し、奥州市と協働で開催した。	
23	総務財政課	共同募金運動への協力	企画	共同募金運動への協力	性を子どもや地域に理解されるよう、情報発信に努めた。	地域福祉活動の重要な財源である共同募金事業との連携協力を図った。また、共同募金運動の必要性を子どもや地域に理解されるよう、情報発信に努めた。	
24	総務財政課	総合福祉センターの経営	企画	胆沢総合福祉センター	所在地 奥州市水沢南町 利用件数 1,216件 利用人員 12,928人	・赤い羽根共同募金 目標額 25,000,000円 実績額 21,047,771円 目標達成率 84.2% 募金件数 1,070件 ・歳末たすけあい募金 目標額 14,000,000円 実績額 12,030,156円 目標達成率 85.9% 募金件数 959件 ・災害救援金 地震や台風、豪雨被害等 2,422,047円	
25	総務財政課	胆沢総合福祉センター	企画	胆沢総合福祉センター	所在地 奥州市胆沢南都田 利用件数 186件 利用人員 1,585人	市民の福祉増進と福祉意識の啓発を図り、地域福祉活動を総合的に推進するための活動拠点として運営を行った。	高齢者の生きがい、仲間、健康づくりに寄与し、ふれあいの場、生涯スポーツ振興の活動拠点として屋内ゲートボール場を設置経営した。 1コート3時間ごと 市民1,000円ノル市民以外2,500円 利用団体数85団体 利用延人数2,879人

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(★)
			大区分	中区分		
26	総務財政課	企画	福祉バス運行事業	地域福祉事業の活性化と福祉団体の活動支援のためにバス運行をした。 運行回数 57回 利用人数 1,160人		発展強化経営計画 地域福祉活動計画
27	総務財政課	企画	江刺総合コミュニティセンターの経営運営	奥州市の指定管理を受け、市民の福祉増進と福祉意識の啓発を図り、地域福祉活動を総合的に推進するための活動拠点として活用し、適切な管理運営に取り組んだ。 利用件数 775件 利用人員 10,580人		
28	総務財政課	企画	江刺高齢者生産活動センター	奥州市の指定管理を受け、高齢者の経験や技術を生かした就業機会の増大を図り、生きがいを高めるため、高齢者の生活活動を推進し、山村地域の振興を図った。 活動状況		
29	総務財政課	企画	前沢バス(ハートバス)運行事業	奥州市公共交通であるデマンド型乗合交通を令和7年1月まで運行した。主な利用者は、自家用の交通工具がないため公共交通機関に頼らざるを得ない高齢者等で、通院や買い物に利用した。 ・大人1回300円、小学生1回150円、乳幼児無料(障がい者・通院・通学・通勤・通勤歴証明書所持者は半額) 運行日数 205日(土・日曜日、祝祭日及び年末年始を除く毎日) 利用人数 8,453人		

No.	担当課	部門	事業名等		地域 福社 課	地域 共生 支援 室	内 容		重点項目 (★)						
			大区分	中区分			新規事業	地域福祉活動計画	発展強化経営計画						
			小地域ネットワーク事業	地域生活課題の解決や福祉コミュニティづくりに向けて、住民が主体的に行う地域セーフティネット会議や生活支援、いきいきサロンの普及促進のために支援を行った。			★	★							
			支えあい事業 「にこね ット」事業	地域セーフティネット会議、生活支援、いきいきサロンなどを一體的に取り組む行政区に対して、小地域ネットワーク事業助成金を交付した。	実施行政区：245 行政区、助成金額：4,430,000 円	・取組状況、助成金交付実績（ネット会議、生活支援、サロン助成金の合計）	区分	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川			
			支えあい事業 「にこね ット」事業	小地域ネットワーク活動	84 行政区 1,410,000 円	51 行政区 940,000 円	49 行政区 900,000 円	43 行政区 845,000 円	18 行政区 335,000 円	○	○				
			支えあい事業 「にこね ット」事業	・普及促進のための説明会	小地域ネットワーク事業の取り組み及び申請方法に係る説明会を開催し、事業の周知を図った。	・地域の困りごとを抱える世帯、気になる世帯などの情報交換や、見守りの体制づくりを目的とした「地域セーフティネット会議」の普及支援と助成金交付を行った。また、地域セーフティネット会議へ福祉活動専門員（CSW）が出席し、運営の支援を行なながら、地域ごとに抱える課題の把握や要援護者の情報共有の場として会議が進められるよう働きかけを行った。	地域セーフティネット会議	実施行政区：245 行政区 / 333 行政区（実施率 73.6%）	地域	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合計
			支えあい事業 「にこね ット」事業	地域の困りごとを抱える世帯、気になる世帯などの情報交換や、見守りの体制づくりを目的とした「地域セーフティネット会議」の普及支援と助成金交付を行った。また、地域セーフティネット会議へ福祉活動専門員（CSW）が出席し、運営の支援を行なながら、地域ごとに抱える課題の把握や要援護者の情報共有の場として会議が進められるよう働きかけを行った。	実施数	84 行政区	51 行政区	49 行政区	43 行政区	18 行政区	245 行政区	○	○		
			支えあい事業 「にこね ット」事業	地域の困りごとを抱える世帯、気になる世帯などの情報交換や、見守りの体制づくりを目的とした「地域セーフティネット会議」の普及支援と助成金交付を行った。また、地域セーフティネット会議へ福祉活動専門員（CSW）が出席し、運営の支援を行なながら、地域ごとに抱える課題の把握や要援護者の情報共有の場として会議が進められるよう働きかけを行った。	助成金額	420,000 円	250,000 円	245,000 円	215,000 円	90,000 円	1,220,000 円	○	○		

No.	担当課	事業名等	内 容				重点項目（★）	
			部門	大区分	中区分	地域		
		～ざえん茶 や創作活動など新たな生活様式に配慮したふれあいサロンへの助成を行った。 ・取組状況、助成金交付実績	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合 計
		ふれあい・いきいきサロン事業	実施力所数	82 力所	45 力所	34 力所	10 力所	232 力所
			実施回数	1,064 回	496 回	503 回	669 回	2,907 回
			参加人数	12,784 人	5,835 人	3,434 人	6,538 人	30,230 人
			助成金額	580,000 円	320,000 円	300,000 円	415,000 円	1,695,000 円
		地域食堂「ごちそうさま」 ひとり暮らし高齢者の会食や子ども食堂など「食」を通じた多世代の交流の場づくりに対して助成を行った。 ・取組状況、助成金交付実績	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合 計
		ふれあい・いきいきサロン事業	実施行政区数	11 行政区	9 行政区	4 行政区	3 行政区	33 行政区
			実施回数	130 回実施	90 回実施	72 回実施	28 回実施	389 回実施
			参加人数	1,899 人	857 人	709 人	334 人	4,424 人
			助成金額	150,000 円	190,000 円	140,000 円	40,000 円	620,000 円
		地域の困りごとを抱える世帯、気になる世帯の見守りや、近隣による除雪やゴミ出しなどの生活支援に取り組む行政区に対して助成金を交付し、普及促進のための支援を行った。 ・取組状況、助成金交付実績	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合 計
		生活支援事業	実施行政区数	52 行政区	36 行政区	43 行政区	35 行政区	179 行政区
			世帯数	542 世帯	142 世帯	157 世帯	279 世帯	1,216 世帯
			実施回数	1,185 回	369 回	260 回	489 回	417 回
			助成金額	260,000 円	180,000 円	215,000 円	175,000 円	895,000 円
		住民支援マップ事業	地域セーフティネット会議の場において生活課題や要援護者の把握のためマップ作成・更新の支援を行った。 ・取り組み数 8 行政区					

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	見守り・安心台帳整備による見守り支援活動 平常時の見守りや安否確認、訪問活動を展開し、見守り・安心台帳の整備を進めた。(区分間に重複あり)	★	★	重点項目(★) 新規事業 地域 活動 計画	発展 強化 経営 計画
			大区分	中区分						

住民支えあい推進事業（避難行動要支援者台帳整備、緊急連絡カードの配備）

地域福祉地域共生支援室

地域
福祉
課

31

対象者区分	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合 計
独居高齢者	721 件	250 件	47 件	60 件	45 件	1,123 件
高齢者世帯	131 件	148 件	31 件	7 件	41 件	358 件
寝たきり高齢者	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
認知症高齢者	7 件	1 件	1 件	0 件	3 件	12 件
障がい（身体）	31 件	24 件	8 件	2 件	3 件	68 件
障がい（知的）	3 件	1 件	0 件	0 件	0 件	4 件
障がい（精神）	5 件	2 件	0 件	0 件	0 件	7 件
難病・特定疾病	14 件	6 件	1 件	2 件	1 件	24 件
その他世帯	85 件	34 件	6 件	2 件	30 件	157 件
合 計	992 件	460 件	93 件	73 件	121 件	1,739 件

避難行動要支援者台帳の登録を進めた。(区分間に重複あり)

対象者区分	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合 計
独居高齢者	223 件	255 件	46 件	144 件	15 件	683 件
高齢者世帯	64 件	68 件	30 件	84 件	10 件	256 件
寝たきり高齢者	1 件	1 件	1 件	0 件	0 件	3 件
認知症高齢者	1 件	4 件	4 件	0 件	1 件	10 件
障がい（身体）	41 件	29 件	15 件	17 件	7 件	109 件
障がい（知的）	3 件	5 件	0 件	0 件	0 件	11 件
障がい（精神）	7 件	3 件	3 件	1 件	0 件	14 件
難病・特定疾病	9 件	12 件	2 件	0 件	1 件	24 件
その他世帯	23 件	11 件	2 件	15 件	4 件	55 件
合 計	373 件	379 件	107 件	261 件	38 件	1,158 件

携帯用緊急連絡カードの配備
緊急時の連絡先について確認し、自宅用と携帯用の2種類の緊急連絡カードの配備、更新を行った。

水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合 計
1,365 枚	839 枚	200 枚	334 枚	159 枚	2,897 枚

(令和7年3月31日現在)

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(★)
			大区分	中区分		
32	地域福祉課	地域生進 社まづ り援 のちく支室	地域福祉推進協 議会や地区振興 会及び自治会と の協働による事 業推進	地域福祉推進協 議会を開催した。 水沢地域福祉推進協議会 江刺地域福祉推進協議会 前沢地域福祉推進協議会 胆沢地域福祉推進協議会 衣川地域福祉推進協議会	地域福祉推進協議会の運営 5地域ごとの地域福祉の推進や評価、地域課題の解決に向けて協議することを目的とした地域福祉 推進協議会を開催した。 水沢地域福祉推進協議会 開催回数5回 江刺地域福祉推進協議会 開催回数5回 前沢地域福祉推進協議会 開催回数5回 胆沢地域福祉推進協議会 開催回数5回 衣川地域福祉推進協議会 開催回数5回	○ ○
33	地域福祉課	地域共進 生室	生活課題を抱えた 世帯と地域福祉活 動をつなぐ事業		ペット等の多頭飼育やゴミ屋敷、孤立している世帯や危険な空き家等の地域生活課題の解決に向け取り組み自 治会等に対して助成金を交付した。 ・助成件数 3件（水沢地域 2件、胆沢地域 1件） ・助成金総額 246,000円	★ ○
34	地域福祉課	地域 生 援 支 室	生活福祉資金貸 付事業	岩手県社会福祉協議会から受託し、生活困窮者自立相談支援事業との連携を図り、要支援者を対象 に、生活福祉資金の貸付による更生援助を行った。		
				生活福祉資金貸 付事業	・相談対応件数 140件 ・総合支援資金(本則)貸付決定件数 4件 ・緊急小口資金(本則)貸付決定件数 20件 ・生活福祉資金貸付決定件数 8件 ・生活福祉資金教育支援資金貸付決定件数 4件	

No.	担当課	部門	事業名等		内 容				重点項目(★)	
			大区分	中区分	新規事業	地域福祉活動計画	強化経営計画			
					コロナ特例貸付終了後も、減収が続き償還が厳しい世帯に対して、最長1年間の償還猶予申請および少額返済のための相談対応を行った。また、滞納の続いている世帯に対し、フォローアップのための連絡対応を行った。	・コロナ特例貸付償還猶予・少額返済相談対応件数 17件	・コロナ特例緊急小口資金償還猶予申請 9件	・コロナ特例総合支援資金償還猶予申請 4件	・コロナ特例少額返済申請対応 4件	生活福祉資金貸付状況

資金種類	令和6年度実績			貸付金累計
	件数	金額(円)	件数	
総合支援資金（コロナ特例除く）	4	1,887,000	75	34,706,514
緊急小口資金（コロナ特例除く）	20	1,540,000	100	8,351,000
不動産担保型生活資金	0	0	1	2,877,000
離職者支援資金	0	0	2	2,100,000
福祉資金福祉費	8	3,457,000	93	58,088,238
教育支援資金	4	1,918,000	207	280,741,588
コロナ特例緊急小口資金	0	0	540	95,367,000
コロナ特例総合支援資金(初回)	0	0	236	133,765,000
コロナ特例総合支援資金(延長)	0	0	19	8,630,000
コロナ特例総合支援資金(再貸付)	0	0	75	36,080,000
合 計	36	8,802,000	1,348	660,706,340

※貸付金は、令和7年3月末現在の金額

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	新規事業 地域 福祉活動 計画	重点項目 (★)	発展 強化 経営 計画																													
			大区分	中区分																																	
35	地域福祉課	地域共生支援室	たすけあい資金事業		生計維持が困難な要支援者を対象に、たすけあい資金貸付による更生援助を行った。 令和6年度たすけあい資金貸付実績	家庭訪問償還指導（督促）																															
					<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">貸付件数</th> <th>52 件</th> <th>訪問件数</th> <th>10 件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸付金額</td> <td>1,710,000 円</td> <td>償還金額</td> <td>1,826,000 円</td> <td>訪問日数</td> <td>2 日</td> </tr> <tr> <td>免除金額</td> <td>237,000 円</td> <td>滞納件数</td> <td>23 件</td> <td>面談件数</td> <td>4 件</td> </tr> <tr> <td>滞納金額</td> <td>813,000 円</td> <td>未償還金額</td> <td>963,200 円</td> <td>償還件数</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>償還金額</td> <td>50,000 円</td> </tr> </tbody> </table>	貸付件数		52 件	訪問件数	10 件	貸付金額	1,710,000 円	償還金額	1,826,000 円	訪問日数	2 日	免除金額	237,000 円	滞納件数	23 件	面談件数	4 件	滞納金額	813,000 円	未償還金額	963,200 円	償還件数	1 件					償還金額	50,000 円			
貸付件数		52 件	訪問件数	10 件																																	
貸付金額	1,710,000 円	償還金額	1,826,000 円	訪問日数	2 日																																
免除金額	237,000 円	滞納件数	23 件	面談件数	4 件																																
滞納金額	813,000 円	未償還金額	963,200 円	償還件数	1 件																																
				償還金額	50,000 円																																

歳末たすけあい募金により生活困難者への「激励金給付」と、孤立を防ぎ地域の絆を深める「地域福祉活動助成」を行った。

項目	単価区分	激励金 金額	合 計	
			世帯数	計算人數
生活困難な高齢者世帯	世帯給付	8,000 円	328 世帯	2,624,000 円
生活困難な高齢者世帯	世帯給付 人員加算	8,000 円 1,000 円	30 世帯 28 人	268,000 円
生活困難な高齢者世帯	世帯給付 人員加算	8,000 円 1,000 円	23 世帯 30 人	214,000 円
障がい者 難病世帯	世帯給付 人員加算	8,000 円 1,000 円	136 世帯 221 人	1,309,000 円
生活困難なひとり親世帯	世帯給付 人員加算	8,000 円 1,000 円	8 世帯 12 人	76,000 円
その他の生活困難世帯	世帯給付 人員加算	8,000 円 1,000 円	100 世帯 173 人	973,000 円
			86 世帯 92 人	780,000 円

No.	担当課	部門	事業名等	内 容				新規事業 登録 強化 経営 計画	重点項目 (★)
				大区分	中区分	災害被災世帯	世帯給付		
						合 計	10,000 円	6 世帯	60,000 円
地域福祉活動助成									
				助成対象	件数	合 計	配分額		
				地域交流・つながりづくり	129 件	2,785,000 円			
				たすけあいによる生活支援	16 件	355,000 円			
				その他	6 件	160,000 円			
				合 計	151 件	3,300,000 円			
民生委員・児童委員（協議会）と連携し、地域の福祉推進のための会議開催、見守り活動の取組みや歳末たすけあい運動配分対象者調査に併せて地域状況把握を進めた。また、各地域、各地区で開催される民生児童委員協議会の会議に毎月出席し、地域福祉活動推進のための連携を図った。									
会議の名称 奥州市民生児童委員連合協議会民児協代表者会議 12回 水沢民生児童委員協議会地区会長会議 12回 江刺民生児童委員協議会会长・副会长会議 12回 市内法定 16 地区民児協定例会 12回									
民生委員・児童委員（協議会）と連携し、地域の福祉推進のための会議開催、見守り活動の取組みや歳末たすけあい運動配分対象者調査に併せて地域状況把握を進めた。また、各地域、各地区で開催される民生児童委員協議会の会議に毎月出席し、地域福祉活動推進のための連携を図った。									
37	地域福祉課		地域共生支援室					○	

No.	担当課	部門	事業名等	大区分	中区分	内 容						重点項目(★)
						新規事業	地域福祉活動計画	発展強化経営計画	地域福祉活動計画	発展強化経営計画	発展強化絏営計画	
38	地域福祉課	地域共生支援室	福祉団体支援・連携 事業運営に関する相談や事業の推進について、各種団体、機関と連携協働し活動支援を行った。									
39	地域福祉課	地域共生支援室	ひとり暮らし高齢者宅の電話を用いて健康状態を発信する「いわて“おげんき”みまもりシステム」を活用して、近隣では見守りが困難な世帯の安否確認を行った。 支援世帯数 4世帯									

No.	担当課	部門	事業名等		内 容						重点項目 (★)
			大区分	中区分	地域 福祉 課	ボランティア活動 振興室	新規 事業	地域 福祉 活動 計画	発展 強化 経営 計画		
			ボランティア・市 民活動センター 運営事業	住民の福祉意識の高揚とボランティア活動の振興を図るため、研修の開催やボランティア連絡協議会との連携を図った。						○	
			抜け漏 れのな い支援	ありがとうボランティア協力店事業 ありがとうボランティア協力店事業を対象とした買い物支援の取り組みとして、日用品の配達や店内での支援を行う ありがとうボランティア協力店事業を推進した。普及・拡大を進めるため、斐川市がランティア連絡協議会と連携して、店舗の巡回を行った。 (水沢 21カ所、江刺 24カ所、前沢 10カ所、胆沢 5カ所、衣川 1カ所、計 61カ所)						○	
40	地域 福祉 課	ボランティア活動 振興室		設置店舗内訳						○	
				区 分	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合 計	
				こんにちは店	11店	0店	4店	4店	0店	19店	○
				いらっしゃい店	5店	0店	1店	0店	1店	7店	
				こんにちは・ いらっしゃい店	5店	24店	5店	1店	0店	35店	
				合 計	21店	24店	10店	5店	1店	61店	
				※こんにちは店(訪問支援型)、いらっしゃい店(訪問支援型・店内配慮型) 両方を兼ねるこには・いらっしゃい店(訪問支援型・店内配慮型)							
				出前講座への講師派遣							
				地域住民の福祉意識の醸成を図るため、福祉体験の場を提供できるように指導者を派遣した。 いわて生活協同組合職員研修会(障害と合理的配慮、車いす体験)							
				地域における福祉教育の推進(講修会開催)						○	
				各種情報発信 SNSを使った情報発信にも努めた。(Facebook フォロワー345名)						○	
				調査研究・情報提供							

No.	担当課	部門	事業名等	大区分	中区分	内 容	重点項目 (★)																														
							新規事業	地域福祉活動計画	登録強化経営計画																												
						<p>ボランティア・市民活動に対する相談、援助 (令和6年度相談件数：25件)</p> <p>奥州市社協ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催し、ボランティア登録状況の確認や ボランティア活動について情報交換をする場とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回運営委員会 5/13 出席者10人 ・令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画について ・第2回運営委員会 3/11 出席者 7人 ・令和6年度事業中間報告及び令和7年度事業計画（案）について <p>奥州ゆいっこ人材名鑑の登録と活用推進 様々な特技を持つ市民を人材名鑑に登録・掲載し、自治会等からの要請に応じて、講師等を紹介す る仕組みを推進した。</p> <p>登録者 42人 (団体) 派遣先 地域のサロン等 97件</p> <p>ボランティアの登録状況等 ・ボランティアの登録状況 奥州市ボランティア連絡協議会の実質的な一本化を図り、ボランティア活動を活性化させていくこ とが必要となつたため、地域ごとの枠組から各団体の活動内容に応じたグループごとの枠組へと組織 再編を行つた。 ・令和6年10月組織再編後実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>団体数</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交流・趣味</td> <td>6</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>2</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>サポート</td> <td>4</td> <td>164</td> </tr> <tr> <td>施設訪問等</td> <td>8</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>障がい</td> <td>10</td> <td>149</td> </tr> <tr> <td>法人・団体</td> <td>10</td> <td>1, 915</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td></td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>40</td> <td>2, 412</td> </tr> </tbody> </table> <p>・令和6年度ボランティア活動保険加入状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>基本プラン</th> <th>天災・地震 補償プラン</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> </table>	区分	団体数	会員数	交流・趣味	6	52	こども	2	30	サポート	4	164	施設訪問等	8	92	障がい	10	149	法人・団体	10	1, 915	個人		10	合計	40	2, 412	区分	基本プラン	天災・地震 補償プラン	合 計
区分	団体数	会員数																																			
交流・趣味	6	52																																			
こども	2	30																																			
サポート	4	164																																			
施設訪問等	8	92																																			
障がい	10	149																																			
法人・団体	10	1, 915																																			
個人		10																																			
合計	40	2, 412																																			
区分	基本プラン	天災・地震 補償プラン	合 計																																		

No.	担当課	部門	事業名等		内 容					重点項目（★）	
			大区分	中区分	水 沢	江 刺	前 沢	胆 沢	衣 川		
					1,651人	99人	169人	26人	10人	119人	1,770人
										3人	102人
										0人	169人
										0人	26人
										1人	11人
					1,955人					123人	2,078人
					奥州市で暮らし続けるためのボランティアの集い、 3/3						
					奥州市総合福祉センター ボランティアの可能性「繋がり・支え合い・未来のために今できること」 ①事例紹介「地域で取組まれている支え合いの仕組み」 ②分科会「私たちにできることはなにかある？こんな仕組みがつたらしいな！」						○
					開催日 会 場 内 容	参加者 ボランティア交流会 INみずさわ	開催日 場 所 内 容	開催日 場 所 内 容	開催日 場 所 内 容	開催日 場 所 内 容	
					3/3	68人	9/29	9/29	9/29	約380人	
					奥州市総合福祉センター ボランティア・市民活動の楽しさや大切さを広く発信するため、ボランティア体験・活動紹介、ふれあいステージや福祉施設・団体の販売コーナーを設置し実施した。						
					水沢工業高校ボランティア 小地域の福祉活動の拠点となる集会施設等の電気設備点検や整備等を行う活動 協力者数 6人 活動場所 30カ所（水沢地域・江刺岩谷堂・江刺愛宕地区） まえさわエコチャップ運動（前沢地域） まえさわエコチャップ運動推進委員会による「世界の子どもにエコチャップを日本委員会」へ寄付を行った。 ボランティア団体等への支援活動団体に対して、助成金や制度の紹介を行ななど支援した。						○
					災害ボランティアセンターの設置・運営訓練 岩手県社会福祉協議会と連携して、災害ボランティアセンターに基づき設置・運営訓練を実施した。					○ ○	
					災害被 災地						

No.	担当課	部門	事業名等		被災者支援	開催日 内 容	奥州市総合福祉センター設置までの流れの確認」 ①訓練「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」 ②グループ討議「振り返り、課題の共有、運営方法の相違の確認」 47名	新規事業 新規地域 活動計画	重点項目 (★)	
			大区分	中区分					新規事業 新規地域 活動計画	発展強化 経営計画
					福祉ボランティア啓発ソーシャル事業	第11回ヒロノ福祉パーク祭 6/22 江刺総合コミュニティセンター特設会場 高齢者も障がいのある人も、大人も子どもと一緒に楽しめるステージや、来場者 も参加し交流を深めるイベントを実施した。 約400人	○			
					福祉ボランティア啓発ソーシャル事業	奥州つながるフェスタ（協力） 開催日 11/24 江刺総合支所 奥州市ボランティア連絡協議会に加入する40団体へ事業について周知し、参加を呼びかけた。 ○				
41	地域福祉課				ボランティア活動振興室 「ささえあいの会」	住民参加型在宅福祉サービス「ささえあいの会」 お手伝いする取組みを推進するため、会員同士の連絡調整を行うコーディネート業務を実施した。 (支援内容) 洗濯、掃除、買い物、軽易な身の回りの世話、外出介助及び付き添い、話し相手等 ・ボランティア研修会等の開催 生活支援ボランティア養成講座 ささえあいの会まかせて会員やボランティアに興味のある方を対象とした養成講座を開催した。	○	①良い聴き方良いお相手とは ②カラダを優しく整えましょう 事務局 備聴ボランティアおうしゅう NCA日本コンディショニング協会 認定トレーナー 菅野 政子氏 菊池 奎子氏 受講者 30人		

No.	担当課	部門	事業名等	内 容								重点項目(★)
				大区分	中区分	会員数				新規事業	地域福祉活動計画	
						区 分	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合計
			おねがい会員	3人	5人	18人	1人	0人	0人	27人		
			まかせて会員	3人	4人	5人	2人	1人	1人	15人		
			合 計	6人	9人	23人	3人	1人	1人	42人		
						ささえあいの会活動状況						
						区 分	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合計
			掃除等家事援助	68件	24件	435件	0件	0件	0件	0件	527件	
			通院の付き添い	2件	0件	3件	0件	0件	0件	0件	5件	
			外出支援や買物等	0件	2件	125件	0件	0件	0件	0件	127件	
			留守・見守り	0件	1件	46件	0件	0件	6件	0件	53件	
			草取り等軽作業	2件	1件	1件	0件	0件	1件	0件	5件	
			その他	0件	3件	0件	0件	0件	0件	0件	3件	
			合 計	72件	31件	610件	0件	7件	7件	720件		
						ご近所福祉スタッフによる活動						
						地域福祉活動の担い手として、50世帯に1名を担当し、担当地域の見守り・声がけを行うご近所福祉スタッフを委嘱し、見守り活動の推進を行った。						★ ★
						・令和6年度末時点実人数						
						水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合計	
						505人	268人	152人	147人	87人	1,159人	
						外出支援サービス事業						
						・高齢者・障がい者等を対象に、ボランティアによるリフト付き車両の運行を行い、通院・公共施設への外出支援を行った。(福祉有償輸送許可事業)						
						・利用内容 通院、買い物、諸手続き、会議など						
						外出支援サービス事業						
						・利用登録人數	前沢	胆沢	衣川	合計		
						利用回数	10人	0人	1人	11人		
						ボランティア登録者数	183回	0回	49回	232回		
						・外出支援ボランティアの養成 (福祉有償運送運転者講習受講)	6人	0人	0人	6人		
						受講者	1人					
42	地域福祉課	ボランティア活動振興室	ご近所福祉スタッフ事業									
43	地域福祉課	ボランティア活動振興室	外出支援サービス事業									○

No.	担当課	部門	事業名等		内 容						重点項目(★)	
			大区分	中区分	地域 福 祉 課 課 課	地域 共 生 支 援 室	地域 福 祉 課 課 課	地域 福 祉 課 課 課	地域 福 祉 課 課 課	地域 福 祉 課 課 課		
44	地域 福 祉 課 課 課	地域 共 生 支 援 室	車いす利用者等、1人では公共交通機関を利用して外出することが困難な在宅者の生活圏拡大と社会参加への支援を目的として、福祉車両の無料貸出事業を実施した。	貸出し状況	車いす利用者等、1人では公共交通機関を利用して外出することが困難な在宅者の生活圏拡大と社会参加への支援を目的として、福祉車両の無料貸出事業を実施した。	車いす利用者等、1人では公共交通機関を利用して外出することが困難な在宅者の生活圏拡大と社会参加への支援を目的として、福祉車両の無料貸出事業を実施した。	車いす利用者等、1人では公共交通機関を利用して外出することが困難な在宅者の生活圏拡大と社会参加への支援を目的として、福祉車両の無料貸出事業を実施した。	車いす利用者等、1人では公共交通機関を利用して外出することが困難な在宅者の生活圏拡大と社会参加への支援を目的として、福祉車両の無料貸出事業を実施した。	車いす利用者等、1人では公共交通機関を利用して外出することが困難な在宅者の生活圏拡大と社会参加への支援を目的として、福祉車両の無料貸出事業を実施した。	車いす利用者等、1人では公共交通機関を利用して外出することが困難な在宅者の生活圏拡大と社会参加への支援を目的として、福祉車両の無料貸出事業を実施した。	○	
45	地域 福 祉 課 課 課	地域 共 生 支 援 室	自発的 活動事業 移動支 援事業	障がい 者等地 域生活 支援業 務	ゆつたりサロン 精神障がい者の居場所づくりを目的に、精神保健福祉ボランティアにじの会が取り組む「ゆつたりサロン」活動に助成金を交付した。 参加者 延254人 期 令和6年4月から令和7年3月まで（毎月第3土曜日）の12回 場 奥州市総合福祉センター 助成金額 20,000円	おでかけサポート事業 一般の交通手段を利用する事が困難な障がい者に対し、外出のための福祉車両を貸出した。 車両貸出回数 3回	パソコン点訳初級講習会 開催日 令和6年10月5日、12日、19日、25日（全4回） 場 奥州市総合福祉センター 受講者 3人	社会参 加支 援事 業	市民ニーズや生活課題の把握 地域セーフティネット会議（244カ所で実施）へ参加し、地域の生活課題の把握や見守りや近隣で 支え合うための体制づくりを支援した。 地域セーフティネット会議訪問回数 135回	○ ○		
46	地域 福 祉 課 課 課	福祉 のま ちづくり 支援 室	抜け漏れのない 実態把握									

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(★)
			大区分	中区分		
47	地域福祉課	まちづくり支援室	かたりあいの輪福祉懇談会		市内 29 地区で懇談会を開催し、地区振興会・支部・福祉活動推進協議会の活動財源に関する「さまざまを学ぶ講座」を開催した。 市民が地域福祉について学ぶ場を設け、身近な実践事例にふれながら福祉活動の担い手の普及と育成を図るため「おかげさまを学ぶ講座」を開催した。 全 4 回開催 参加者数 151 名【会場】116 名 (Zoom) 35 名	○ ○ ○ ○
48	地域福祉課	福祉のまちづくり支援室	住民参加型まちづくり普及啓発		おかげさまを学ぶ講座 市民が地域福祉について学ぶ場を設け、身近な実践事例にふれながら福祉活動の担い手の普及と育成を図るため「おかげさまを学ぶ講座」を開催した。 全 4 回開催 参加者数 151 名【会場】116 名 (Zoom) 35 名	○ ○ ○ ○

No.	担当課	部門	事業名等	内 容			重点項目 (★)
				大区分	中区分	新規事業	
				相談数 【第2回】 実施日 会場 相談員 相談件数	50件 (法律7件、相続15件、子育て2件、高齢者・介護3件、障がい1件、こころとがん般5件) 9/12 奥州市文化会館 中ホール 14名 40件 (法律7件、相続15件、子育て1件、高齢者・介護3件、お墓5件、生活全般2件)		発展強化経営計画
				【第3回】 実施日 会場 相談員 相談件数	10/31 奥州市文化会館 中ホール 14名 37件 (法律8件、相続15件、高齢者・介護4件、障がい1件、こころとがらだ3件、仕事3件、財産管理1件、お墓5件、生活全般2件)		
				【第4回】 実施日 会場 相談員 相談件数	2/28 奥州市文化会館 中ホール 14名 42件 (法律7件、相続11件、子育て3件、高齢者・介護3件、障がい1件、こころとがらだ6件、仕事2件、お墓5件、生活全般4件)		
49	地域福祉課	福祉のまちづくり支援室	福祉なんでも相談所 (心配ごと相談) の開設	市民の福祉や生活に関するあらゆる悩みを相談できる窓口として福祉なんでも相談所を開設し、地域福祉課の福祉専門員 (CSW) が悩みごとや困りごとの解決に向け助言等を行った。	実施期間 場所 開設日数 取扱件数	5/7から2/27までの期間における指定日 市内30地区センターを年1回巡回して実施 30日 6件 (障がい者福祉2件、墓じまい1件、地域・近隣1件、その他2件)	○

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(★)
			大区分	中区分		
50	地域福祉課	地域共生支援室	地域共生社会推進事業(CSW) 地域支援事業)	住民主体の地域福祉活動や、暮らしを支え合う地域づくりのため、福祉活動専門員による個別支援・地域支援を行った。また、かたりあいの輪福祉懇談会等で把握した地域の優先課題の解決に向け、地区振興会やネット会議との連携を図った。	地域セーフティネット会議等に参加し、8050問題やゴミ屋敷問題など複合課題や引きこもりで悩む世帯、困窮などで緊急支援を要する世帯を把握することに努めた。	○ ★
51	生活応援課	福祉サービス利用支援	奥州金ケ崎地域権利擁護センターの運営	成年後見制度や日常生活自立支援事業の対象となる権利擁護を必要とする方が、地域で安心して暮らしつづけるように、相談支援を実施した。また、法人後見の取組みを通じて地域連携ネットワークを構築し、包括的な権利擁護の仕組みづくりに取り組んだ。また、障がいや高齢等により判断能力が十分でない方などが安心した生活が送れるよう、福祉サービス利用のための相談支援を行った。 奥州金ケ崎地域連携ネットワーク運営会議の開催 奥州金ケ崎地域権利擁護あんしんセンター事業の円滑な実施のため連携自治体間の基本協定に基づく会議	支援会議の開催 第1回 4/26 出席者11名 第2回 3/13 出席者12名 要接護者の状態に応じた権利擁護支援の方針等を協議するため支援会議を開催した。 奥州金ケ崎地域権利擁護あんしんセンターと盛岡家庭裁判所水沢支部との情報交換会開催日 第1回 7/31 協議案件2件 出席者9名 第2回 11/26 協議案件1件 出席者8名 第3回 2/25 協議案件1件 出席者10名 奥州金ケ崎地域権利擁護あんしんセンター 第1回 7/22 関係職員5名 第2回 12/25 関係職員6名 第3回 3/26 関係職員7名	○

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目 (★)
			大区分	中区分		
			奥州金ヶ崎地域連携ネットワーク協議会の開催		成年後見制度の利用が必要な人が制度を利用できるよう各種専門職団体・関係機関の協力及び連携強化を目的とした協議の場として、奥州金ヶ崎地域連携ネットワーク協議会を開催した。 開催日 5/17 出席委員 9名・オブザーバー出席 1名 内容 令和 6 年度奥州金ヶ崎地域権利擁護あんしんセンター事業計画について等	
			成年後見制度の理解を深めいただくため、地域福祉推進協議会や民生児童委員協議会に出向き事業説明を行った。		地域福祉推進協議会 5回 民生児童委員協議会 1回 奥州金ヶ崎地域権利擁護研修会（奥州地域日常生活自立支援事業関係機関等連絡会） 開催日 11/8 参加者 49人 内容 相談支援事業所利用者の権利擁護支援について他 成年後見制度申立ての相談対応、手続き支援等を行った。 支援により申立て手続きを行ったケース 7件（高齢者 0 件、障がい者 7 件） 支援により申立て手続き中のケース 12 件（高齢者 5 件、障がい者 7 件）	○
			成年後見制度の啓発と相談支援		身近な市民の立場で後見活動を行う市民後見人養成講座」を開催した。 実施期間 9/12 から 10/10 まで 全 5 回 会 場 奥州市総合福祉センター 受 講 生 24 名（修了生） 奥州金ヶ崎地域市民後見人養成講座フォローアップ研修会 開催日 12/11 参加者 32 人 会 場 奥州市総合福祉センター	○
			市民後見人の養成組織活動支援		相談員 2 人を配置し、成年後見制度の利用支援と法人後見の受任による不動産や預貯金等の財産管理、契約の代行、身上監護等を行った。 ・受任件数 (R6 / 3 / 31 現在) 18 件（後見 11 件、保佐 5 件、補助 2 件） ・法人後見運営委員会 第 1 回 6/28 出席 13 名 受任可 1 件	

No.	担当課	部門	事業名等	大区分	中区分	内 容	重点項目(★)	
							新規事業	地域福祉活動計画
			専門員 3人を配置し、生活支援員 20人の援助活動により、福祉サービスの利用支援、日常的金銭管理サービス、通帳書類等預かりサービス及び相談・訪問活動を行った。					
			常生活自立支援事業に関するもの 認知症 知的 精神 その他 間合せ その他				合 計	
			相談援助件数 契約締結件数 (生活保護世帯 0件) 契約終了件数 実利用人数	509 1 10 13	556 0 3 29	1,207 2 6 30	207 0 0 0	7 3 19 72
			「障がいのある人も共に学び共に生きる岩手県づくり条例」による障がいのある人に対する不利益な取扱いに関する相談窓口を開設した。 ・相談受付実績 0件					
			障がいのある人の不利益な取扱いの相談窓口の開設					
			奥州市・金ヶ崎町生活困窮者自立相談支援事業					
52	生活応援課	生活困窮者自立支援	奥州市・金ヶ崎町市民を対象に、経済的に困窮し、最低限度の生活維持ができないある人に對し、相談者に寄り添う伴走型の相談援助を行った。				○	
			新規相談受付件数 プラン作成件数 支援終結件数 支援調整会議開催回数	303件 (うち再プラン策定 9件) 39件 24回	26件 6件 7件 4回			

No.	担当課	部門	事業名等		内 容		重点項目(★)
			大区分	中区分	新規事業	地域福祉活動計画	
			奥州市生活困窮者就労準備支援事業	生活困窮世帯及び生活保護世帯に対し、早期に困難状態から脱却することを支援するため、日常生活、社会生活及び就労の自立支援を提供し、一般就労に結びつくよう支援した。			
			・新規就労準備支援業務対象者 1人				
			・実施プログラム4種類 59回開催 延べ59人参加				
			奥州市被保護者就労準備支援事業				
			・新規就労準備支援業務対象者 3人				
			・実施プログラム4種類 37人参加				
			生活困窮者就労支援事業、被保護者就労支援事業				
			・就労者 0人				
			生活困窮者就労支援事業				
			・就労者 0人				
			生活困窮者家計改善事業	家計に課題を抱える方の相談に応じ、その状況を明らかにして生活の再生に向けた意欲を引き出し、管理する力を高め、早期に生活が再生されることを目的とした相談援助を行った。			
			・プラン作成件数 2件				
			無料職業紹介設置事業				
			・認可を受け、無料職業紹介を行った。				
			奥州市内に居住する生活困窮者自立相談支援事業の利用者に対し就業を斡旋するため、厚生労働省の認可を受け、無料職業紹介設置事業				
			・紹介件数 求人0件・紹介0件				

No.	担当課	部門	事業名等	内 容			重点項目 (★)
				大区分	中区分	新規事業	地域福祉活動計画
			フードパンク運営事業	何らかの理由で生活が困窮した状態になり、当面の食料がない世帯に対し、企業及び市民から寄付された食品を提供した。	食品受付件数 116件	提供件数 世帯へ提供 144 件(160人)	
			家族食堂事業	様々な理由で困窮している世帯に対し、飲食店経営者の理解を得ながら食事を提供することで、家族の団らんや社会参加の機会を提供し、自立支援につなげていくことを目指し事業を実施した。	提供件数 8店	0件 (0人)	
53	生活応援課	地域包括支援	地域包括支援センター運営事業	専門知識を持った保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーを配置し、住民の各種相談を受けて必要な制度や機関につなげた。また、要支援認定を受けた方のケアプラン作成、居宅介護支援事業所のサービスに対する地域：水沢中央地域（水沢・佐倉河）えさし南地域（愛宕・田原・藤里・伊手・稻瀬）			
			地域包括支援セントラル	相談内容	項目	総件数	(単位：件)
				介護予防に関する相談		173	80
				介護保険に関する相談		533	209
				権利擁護に関する相談		8	4
				高齢者虐待に関する相談		29	10
				包括的・継続的ケアマネジメントに関する相談		59	10
				福祉事業に関する相談		0	0
				保健事業に関する相談		0	0
				その他総合相談		487	121
				合 計		1,289	434
				事業実施回数			(単位：回)
				個別地域ケア会議		3	
				認知症力フェ開催		12	
				プラン作成数			(単位：件)
				介護予防ケアマネジメントプラン作成数	総 数	1,493	委託数 641 852
				介護予防支援プラン作成数	包括作成数	1,839	698 1,141

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目(★)
			大区分	中区分		
					家族介護教室	
					第1回 期日及び参加者 11/18 15名参加 テーマ 「多肉植物の寄せ植え教室へこころに潤いを～」 期日及び参加者 11/24 20名参加 テーマ 「ご存じですか。わたしの気持ち」	
					第2回 期日及び参加者 2/21 27名参加 テーマ 第1部「家族が認知症かも?と気づいたら～病院受診・相談について～」 第2部「私の介護～両親を介護した私の想い～」	
					相談内容 (単位:件)	
					項目 総件数 実件数	
					介護予防に関する相談 174 76	
					介護保険に関する相談 463 177	
					権利擁護に関する相談 31 5	
					高齢者虐待に関する相談 75 7	
					包括的・継続的ケアマネジメントに関する相談 190 39	
					福祉事業に関する相談 0 0	
					保健事業に関する相談 1 1	
					その他総合相談 484 139	
					合 計 1,418 444	
					事業実施回数 (単位:回)	
					個別地域ケア会議 7	
					認知症力フェア開催 12	
					プラン作成数 (単位:件)	
					介護予防ケアマネジメントプラン作成数 1,170 552	
					介護予防支援プラン作成数 1,296 696	
					家族介護教室 第1回 期日及び参加者 10/11 17名参加 テーマ 「認知症について正しく理解しよう」 期日及び参加者 10/24 13名参加 テーマ 「高齢者のための防災～災害時にあわてないようにな～」 第2回 期日及び参加者 11/13 12名参加 テーマ 「体を使って音を楽しもう」	

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目 (★)
			大区分	中区分		
54	生活応援課		市民の相談を真剣に受け止める体制づくり		相談者の属性、世代及び相談内容に関するため、課内で協議し法人全体で活用できる相談対応を包括的に受け止めました。	
55	こども福祉課		放課後児童クラブ運営事業		就労等により保護者が日中家庭に不在となる小学校児童を対象として、放課後、長期休暇及び土曜日に適切な遊びや生活の場を提供し、健全育成活動に努めた。また、地域組織と連携し、地域における子育て世帯の総合支援を行った。	★

水沢地域 8施設／定員 520人			
施設名	定員	開設日数	利用人員
水 沢	65人	250日	14,274人
みなみ	90人	285日	17,466人
ときわ	90人	276日	12,728人
佐倉河	65人	288日	13,540人
真 城	65人	251日	12,403人
婦 体	65人	252日	12,329人
羽 田	40人	251日	7,616人
黒 石	40人	253日	3,255人

江刺地域 1施設／定員 60人			
施設名	定員	開設日数	利用人員
江刺愛宕	60人	252日	11,103人

胆沢地域 2施設／定員 75人			
施設名	定員	開設日数	利用人員
胆沢笠森	50人	275日	7,213人
南都田	25人	251日	4,720人

前沢地域 1施設／定員 135人			
施設名	定員	開設日数	利用人員
古城	135人	282日	24,280人

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目 (★)	
			大区分	中区分			
56	こども福祉課	-	放課後児童健全育成事業	衣川地域	衣川地域 2 クラブ／走員 60 人 施設名 定員 開設日数 利用人員 衣川 30 人 284 日 4,053 人 衣里 30 人 254 日 4,175 人	新規事業	地域福祉活動計画
					《合 計》 地 域 開設日数 利用人員 水 洴 2,106 日 93,611 人 江 刺 252 日 11,103 人 前 洼 282 日 24,280 人 胆 洼 526 日 11,933 人 衣 川 538 日 8,228 人 合 計 3,704 日 149,155 人	発展強化経営計画	発展強化経営計画
					市内の教育・保育施設と連携し、児童生徒の福祉教育を推進した。地域交流やボランティア活動を通じ、福祉の学びを支援することを目的として福祉推進校を指定した。「集める」「触れ合う」「手伝う」「広める」「学ぶ・体験する」「調べる・発表する」「その他」の項目から活動内容を選択し取組した学校等へ補助金を交付した。	新規事業	地域福祉活動計画
					市内各学校等の総合学習支援福扯學習に取組みやすい環境と方法を提案し、充実した福祉の学びになるよう学校等に対しサポートした。また、障がい当事者の講話、点字体験学習及びキャラップハンディ体験学習の出前講座を実施した。地域にある公共施設を活用したふくしの授業を実施し、身近にある課題への気づきを促し、共生について考える機会とした。	新規事業	地域福祉活動計画
					実施回数 水沢 江刺 前沢 胆沢 衣川 合 計 5回 4回 3回 3回 0回 15回 福祉教育推進セミナーの開催 福祉教育を進めることによる効果的なプログラムづくりの発想と手法を知る機会として、セミナーを開催した。 学校運営協議会委員、民生委員・児童委員、ボランティアを対象として、セミナーを開催した。 開催日：6月25日(火) 参加人数：65名	新規事業	地域福祉活動計画

No.	担当課	部門	事業名等		内 容		重点項目 (★)
			大区分	中区分	新規事業 地域福祉活動 計画	発展強化 経営計画	
			こども食堂運営 推進事業		地域住民によるこども食堂の運営や立ち上げを行い、市民や企業から寄付があつたものを各こども食堂へ調整し提供した。 食材寄付の受付実績 33 件 食材提供の支援実績 延べ 82 団体 (5,497 件) 運営継続のための情報提供 他団体の助成金等の情報について、市内のことども食堂へ情報提供を行った。また、助成金申請に関連する相談対応や書類作成の支援を行った。	○ ○	
	運営支援				立上げ支援に係る相談対応 4 件 (うち 1 件がこども食堂開設) 市内のことども食堂への訪問支援 10 回		
57	こども福祉課	-	ボランティア・運営スタッフ向け研修会の開催 ・令和 6 年度ことどもの居場所・ことども食堂研修会 ことども食堂（地域食堂）に関心のある方を対象に、食堂の立ち上げから運営をスムーズに進めるための情報提供や、担い手として活躍するボランティアの育成を目的に実施した。	講師 認定 NPO 法人 全国こども食堂支援センター・むすびひえ 内 容 講演「ことども食堂からはじめる地域の居場所づくり」 開催日 2 月 13 日 参加人数 60 名 講演及び活動事例紹介 (2 団体) チーム山形プロジェクトリーダー 石 山 由美子 氏	高校生ふれあいレストランの開催支援 高校生のうちから地域に目を向ける機会を作り、地域の担い手やがランティア育成を目的として、岩谷堂高校の高校生が企画とした「高校生ふれあいレストラン」の開催を支援した。	開催日 8 月 24 日 参加人数 21 人 開催場所 梁川地区センター	

No.	担当課	部門	事業名等			内 容	重点項目(★)
			大区分	中区分	会員数		
58	こども福祉課	-	ファミリーサポートセンター事業	子育ての支援を受けたい人と支援を行える人が会員登録をし、有償で相互援助を行った。	会員数 おねがい会員(支援を受けたい人) どつちも会員	791名 38名 合 計	まかせて会員(支援を行える人) 289名 1,118名
					活動内容	件 数	
					保育施設(保育所・幼稚園)の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり	178件	
					保育施設(保育所・幼稚園)の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり及び預かりに係る送迎	43件	
					保育施設(保育所・幼稚園)への送迎のみ	35件	
					放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり	1件	
					放課後児童クラブ終了後の子どもの預かりに係る送迎	0件	
					放課後児童クラブへの迎えのみ	0件	
					学校の放課後の子どもの預かり(長期休業中など学校が休みの場合も含む)	10件	
					冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	3件	
					買い物等外出の際の子どもの預かり	129件	
					病児・病後児の預かり	1件	
					保護者の短時間・臨時的就労の場合の援助	75件	
					子どもの習い事の送迎	298件	
					保護者の病気・その他急用の場合の援助	16件	
					複数の子どもがいる場合の援助(きょうだい)	246件	
					放課後児童クラブへの送りのみ	14件	
					リッシュシユ	2件	
					ならし保育	3件	
					合 計	1,054件	
					会員向け講習会の開催		
					8回開催(7/12、7/19、7/24、7/29、10/4、10/16、10/30、11/1)		
					参加者 延べ60人		
					会員交流の場としてファミカフェを開催		
					開催日 7/4(会員18人こども託児3人) 11/9(会員22人、こども託児7人)		

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目 (★)
			大区分	中区分		
			会 場	奥州市総合福祉センター地域交流室	会員の加入促進及び事業周知 おうしゅう福祉だよりへ会員募集の記事掲載 (R6.11発行) アミリーサポートセンターホームページをリニューアルし、よりわかりやすい情報発信を行つた。また、公式LINEを開設し、公式LINEを開設し、公式LINEを発信する情報提供をSNSで発信する仕組みを構築した。 インスタグラムで活動の様子を掲載し、事業周知を図った。	
59	こども福祉課	-	サー ドプレイス 事 業	放課後児童クラブ施設及び奥州市総合福祉センター地域交流室をこどもの居場所として開放し、事業周知を行つた。 開設日数 87日 利用登録 4人 利用実績 1件 (3人)	★ 家事・育児等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊娠婦、ヤングケアラー等の家庭に対して、傾聴・家事・育児の支援をする訪問支援員(子育てヘルパー)の養成研修を行つた。また、奥州市からの要請に基づいて訪問支援員を派遣し、家庭環境を整える支援を行つた。 ・利用申請受付実績 1件 ・ヘルパー派遣回数 1回 ・訪問支援員(子育てヘルパー)養成研修会の開催 開催日 7/12, 7/24, 7/29 (補修日: 8/9、8/20、8/27、10/4) 参加人数 延べ59名 研修全過程修了者 (訪問支援員登録者) 19名 ・事業実施に向けた関係者間での協議 3回 ・事業利用見込み者について関係者で事前ケース会議 2回	通年 (7月から派遺事業を実施予定) ★
60	こども福祉課	子育て世帯問題支援事業	居宅介護支援事業	居宅介護支援事業	介護保険の認定を受けた方のケアン作成を行い、介護保険制度を利用できるよう支援した。 ・介護給付 年平均利用人数 124.0人 年間件数 1,489件 目標値 1,512件・達成率 98.4% 介護給付費 24,185,070円 目標値 23,857,000円・達成率 101.4% ・介護予防支援 年平均利用人数 37.0人 (介護予防ケアマネジメント含) 年間件数 445件 目標値 528件・達成率 84.2% 介護予防支援費 2,041,740円 目標値 2,385,000円・達成率 85.6%	
61	介護事業課	居宅介護支援サービス	居宅介護支援事業	居宅介護支援事業		

No.	担当課	部門	事業名等	内 容		重点項目 (★)
				大区分	中区分	
62	介護事業課	介護保険サービス	訪問介護事業 「げんき」	介護保険の認定を受けた方、障がい者、要介護認定で事業対象者となつた高齢者へホームヘルパーが訪問し、家事支援や身体介護を行ひ、在宅生活を継続的に支援した。		
63	介護事業課	介護保険サービス	通所介護事業	介護保険の認定を受けた方に対して、デイサービス事業（通所介護・予防通所介護事業）を行つた。		

介護保険訪問介護事業	
サービス提供日数	365 日
提供件数	16,498 件
月平均利用人數	187 人
月平均提供件数	1,375 件
1 日平均提供件数	47 件
介護料収入	33,651,887 円
介護予防料収入	27,361,902 円

障がい者訪問介護事業

障がい者訪問介護事業	
提供件数	6,872 件
月平均利用人數	85 人
月平均提供件数	573 件
事業収入	32,671,364 円

介護事業課	
介護保険サービス	デイサービスセンターの園
1 日の利用定員	18 人
開設日数	256 日
月平均利用人數	200 人
延利用人數	2,395 人
1 日平均利用人數	9 人
介護予防・総合事業（要支援）	619 人
介護予防料収入	3,269,528 円

No.	担当課	部門	事業名等		内 容		新規事業	地域福祉活動計画	発展強化経営計画	重点項目(★)
			大区分	中区分	介護給付(要介護)	1,776人				
					介護料収入	15,231,131円				
					食費等	1,901,800円				
					1日の利用定員20人					
					開設日数	101日				
					月平均利用人数	59.5人				
					延利用人数	715人				
					1日平均利用人数	7人				
					介護予防・総合事業(要支援)	519人	要支援目標値 4,887,000円 達成率 53.8%	○		
					介護予防料収入	2,630,949円				
					介護給付(要介護)	196人	要介護目標値 4,812,000円 達成率 30.9%			
					介護料収入	1,489,603円				
					食費等	506,725円				
					小規模施設において、「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境と地域住民との交流の中で日常生活上の支援や機能訓練を行った。					
					利用登録定員24人	1日の定員	通所12人、宿泊5人			
					月平均登録者数	18.9人				
					延利用人数	通い2,472人	泊り1,290人	訪問1,668人		
					月平均利用人数	通い206人	泊り108人	訪問139人		
					地域密着型介護料	32,786,162円	目標値 52,688,000円 達成率 62.2%			
					利用料等収入	8,042,710円	目標値 7,807,000円 達成率 103%			
64	介護事業課	介護保険サービス	通所介護事業 小規模多機能型 居宅施設「あす も」							

No.	担当課	部門	事業名等		内 容	重点項目 (★)	
			大区分	中区分		新規事業	地域福祉活動計画 登録強化経営計画
65	介護事業課	介護保険サービス	いさわ高齢者複合施設「じゅあんの園」	認知症対応型グループホームと認知症対応型デイサービスセンターの複合型施設の経営を行った。	ぬくもりのある家庭的な雰囲気の中で、利用者一人ひとりの個性を尊重し、安心して生活を送ることができるような環境作りに努めた。また、地域に根ざした施設として、地域住民との交流、外出を通して、社会とのつながりを作り大切にし、いきいきとした生活を送られるよう支援した。 グループホームじゅあんの園 定員9人×2ユニット 18人	延利用人数 月平均利用人数 地域密着型介護料 利用料等収入	204人 17人 60,647,000円 94.1% 目標値 達成率 目標値 達成率 21,666,000円 94.4%